

(様式3)

平成 27 年 2 月 20 日
(データ配信日 平成 27 年2月24日)

教 育 長 様

代表者 校 園 名 (大阪市立本田小学校)
校 園 長 名 (銭 本 三 千 宏) 印
(電 話 6581-1531 FAX 6581-3194)

申請者 校 園 名 (大阪市立本田小学校)
職 名 ・ 名 前 (教 諭 ・ 流 田 賢 一) 印
(電 話 6581-1531 FAX 6581-3194)

代表者校 学校事務職員名 (原 田 陽 子)

平成 26 年度「がんばる先生支援」事業報告書

平成 26 年度「がんばる先生支援」について、次のとおり報告します。

1. 研究コース名 (個人・グループ) 研究 (基礎・今日的課題) 研究コース
2. 研究テーマ 「世界トップレベルの学力・人間力強化」をめざして
3. 研究目的 平成 25 年 4 月 23 日 文部科学省より「人材力強化のための教育改革プラン」が出された。これは主に国立大学改革、グローバル人材育成についてのプランであるが、その 9 ページに「世界トップレベルの学力・人間力強化」として 3 つの具体的方策が示されている。第 1 は「学力・人間力」第 2 は「21 世紀型スキルの習得～ICT 活用の推進」第 3 は「理数教育教科」である。本校では大阪市教育委員会「学校教育 ICT 活用事業」のモデル校として、第 2 の具体策については実践的研究をすでに行っている。この実践的研究を基本に据え、本年度は第 1 の「学力・人間力」について研究を進めたいと考えている。 周知のとおり、我が国の資源は人材にある。少子高齢化・グローバル化等様々な未曾有の課題に対処するためには「世界トップレベルの学力・人間力強化」は不可欠である。
4 取り組み内容(具体的に取組んだ研究内容を記述ください) 大阪市教育委員会「学校教育 ICT 活用事業」のモデル校として、年間 3 回の公開授業をすることはもちろんのことだが、それに向けての研究を深める方法を工夫してきた。一つ目は、校外の先進的な取り組みを直接学びに行くことである。筑波大学附属小学校の公開授業に年間 13 回(算数・国語・音楽・図工・体育・ICT)参加し、それ以外の研究会にもものべ 13 回(学校公開・国語・算数・音楽・ICT)参加してきた。そこで、学んだことを校内で研究会を設定し伝達講習により、全職員で共有化した。授業づくりの視点を学ぶことができた。 管外出張のみ以下に示す。 【筑波大学附属小学校】 体 育 体育科で育てたい知識・技能・かかわり～各領域の指導を通して考える～ 算 数 オール筑波 算数サマーフェスティバル 国 語 くどうなおこワールドにどっぷりつかろう 授業研究会 算 数 高知算数セミナー 図 工 図工サンダー公開授業研究会 道 徳 日本道徳基礎教育学会 研究大会

国 語 全国国語授業研究大会
算 数 全国算数授業研究大会
I C T つくば I C T
算 数 志算研授業研究会
各教科 高学年の学びの土台をつくる授業
各教科 学習公開・初等教育研修会 2名

【青森】

音 楽 弘前大学附属小学校 研究大会

二つ目は、伝達だけでなく直接学ぶために、筑波大学附属小学校から教諭を招聘した。午前中は校内研究会を実施した。低・中・高で事前に指導案検討した授業を参観していただき、指導講評をいただいた。本校の研究について助言いただくことができた。午後からは、大阪市の教員対象に師範授業・講演会を開いていただいた。募集開始後、2日で定員を超えるほど大勢の参加者があった。

三つ目は、校内の研究を深めるために年間3回の提案授業をし、大学教員に指導助言に入ってもらい研究の方向性を共通理解した。今年の研究は、I C Tを活用することより、児童が主体的に考え行動することである。

5 具体的な検証方法と明らかになった成果

年間3回の公開授業と筑波大学附属小学校の教諭による公開授業を通して、市内教職員の参観者400人以上をめざし、本研究グループが核となり授業づくりのネットワークを構築することを目標としてきた。今年度、目標の人数を上回る参加者があった。これは、本校の研究が多くの教職員に求められていたということであろう。

校内的には、「プレゼンテーション」「対話・討論」「観察・実験」を重視した授業を目指すというパラダイムが形成され、研究の方向性が明確になり、実践的研究のスピードアップを図ることができた。また、一人一人の指導者の教材分析力、授業構築力、授業再現力の向上を図ることができた。この授業力向上が児童の「学力・人間力強化」を高めていくことになった。自らの学びを創造していく児童が増え、学びを楽しむ姿をみることができた。低・中・高での児童アンケートの結果によると「国語の授業は楽しい」「国語の授業は好きだ」「算数の授業は楽しい」「算数の授業は好きだ」について1学期より3学期に向けておおむね肯定的感想が向上している。これは、本校教員の授業づくりや授業についての考え方が向上し、児童が意欲的に授業にとりくんでいるからであろう。

文部科学省後援のeスクールステップアップキャンプでは、本校教員がI C Tを活用した模擬授業をした。また、活用事例としてI C Tを活用した授業の発表をした。各教科の本質を捉えるためのI C Tの活用を研究してきた成果である。

以上のことより、全国トップレベルの授業を体験・経験することによる教育研究へのインセンティブの向上、全国との出会いによる研究の戦略の獲得、自らの実践的研究による授業方法の改善につながった。I C T活用モデル校研究との連動により教科の本質に迫るI C T活用の方法等により、本研究に参加した教師の指導力は、大阪市のモデルとなりうる。

6 研究発表等を実施した日・場所・参加者数

7月 2日(水)	本田小学校	公開授業6本	120名
9月24日(水)	本田小学校	筑波大学附属小学校教諭師範授業・講演会	200名
10月29日(水)	本田小学校	公開授業7本(含 支援学級)	100名
1月28日(水)	本田小学校	公開授業7本(含 支援学級)	80名

上記の内容を原則としてA4判2ページで作成し、平成27年2月27日までに大阪市教育センター「がんばる先生支援担当」まで提出すること。(研究内容、資料等を添付すること)